

12月定例会

チエツクします 議案の質疑討論

条例改正

農業委員会制度が変わる

法律改正にともない、本町では農業委員の定数を15人にする。
新たに農地利用最適化推進委員を設け、定数を15人、月額報酬額を農業委員と同じ2万6000円とするもの。

【野口昌議員】 この条例の中に農地利用最適化推進委員長はない。

【近藤議員】 今回の制度改革のポイントは何か。

【農業委員会事務局長】 新たな制度では農業委員会の業務の重点化を定めている。農地利用の最適化を強力に推進していくという考え方で

【大森議員】 事業の変更で約7400万円の増額になっている。

【建設課長】 標準的な仕様で設計をしていたが、通常の盛土工法では施工できず、補強盛土工法を取らざるを得ないため、事業費の見直しを行った。

【岡田議員】 片側が急斜面で事業費が増えたが、当初から見通せなかったのか。

【建設課長】 見通せなかったのかと。工事完了は平成30年度で考えている。

【建設課長】 推進委員は現場を中心に活動をし、今まで以上に農家との関わりの中で農地利用の集約化を進め、担い手の育成も推進していく。

【建設課長】 農業委員と推進委員はともに連携して、農地行政・農業委員会業務を推進していく立場になる。法的には推進委員長を設置するような定めはない。

町道退休寺線

総合計画の変更



30年度完了予定

【岡田議員】 片側が急斜面で事業費が増えたが、当初から見通せなかったのか。

【建設課長】 見通せなかったのかと。工事完了は平成30年度で考えている。

【建設課長】 標準的な仕様で設計をしていたが、通常の盛土工法では施工できず、補強盛土工法を取らざるを得ないため、事業費の見直しを行った。

【建設課長】 推進委員は現場を中心に活動をし、今まで以上に農家との関わりの中で農地利用の集約化を進め、担い手の育成も推進していく。

一般会計補正予算

町道人権交流センター線

【西山議員】 土地関係者が3人ある。正当な希望であると思われる人の話には答えているか。水路があることで、改良しないと通行する人が危険だということはないか。

【建設課長】 安全対策で必要なものはこの工事で実施している。しかし、供用開始後に利用者から要望があれば、その都度相談させてもらう。



敬老会交付金

9集落から申請なし

【吉原議員】 敬老会交付金といきいきふれあい活動支援事業補助金の減額理由は何か。

【福祉介護課長】 敬老会交付金は、9集落、自主組織では5団体から申請がなかった。対象者も減ったので減額をしている。

いきいきふれあい活動支援事業補助金も、申請団体が当初に比べて減ったからである。

教室と音楽室にUV対策

【加藤議員】 概要説明を読む限り取られたような記憶があるが、窓だけで問題はないか。特別な事情があるのか。いか。

【幼児・学校教育課長】 光カーテンなどの対策も取られた。窓だけで問題はないか。特別な事情があるのか。いか。

【幼児・学校教育課長】 児童は紫外線がカットできれば良いということだが、できるだけだけの改良を他の自治体では、進んでいる。



UVカットフィルムとは人体に影響を与える紫外線を防ぐ、窓ガラスなどに貼るフィルム

ふるさと納税

対価としては

【米本議員】 ふるさと納税はありがたいが、手間がかかりすぎて、業務に支障がでているという報道もある。業務量は寄付に対して見合っているか。

だいていているが、ショッピング感覚でされる人が多い。品物が届かないとか不在の時の対応もある。

ワンストップ特例もあり、対応は非常に煩雑になっている。

【総務課長】 約1億円の寄付をいた

敬老会交付金

9集落から申請なし

いきいきふれあい活動支援事業補助金も、申請団体が当初に比べて減ったからである。

林業再生へ設備投資

大山プレカットで行うCLT*パネルを作るための機械の整備。

【加藤議員】

森林・林業再生基盤づくり交付金事業の説明で「森林整備・保全の推進、林業の持続的かつ健全な発展と木材利用の推進を図る」という意味が分かりづらい。

今までは違う何か新しいことをするのか。

【農林水産課長】

機械を整備することで、木材が活用されるという広い意味で書いています。



CLTとは板の繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料。厚みのある大きな板で、建築の構造材や家具などにも使用される。



おきばんだ

バリアフリー化助成

ほとんど使われず

町内の特定建物のバリアフリー化に対する助成事業である福祉のまちづくり推進事業補助金が732万8千円減額になっている。当初予算は750万円だった。

【岡田議員】

ほとんど予算執行することなく減額される理由を聞きたい。

【福祉介護課長】

当初2事業所が申請に合わせた減額をした。

をしていたが、一方は当初予定の規模を縮小し、手すりのみを設置した。他方の事業所は独自に実施をされたので、実績



スロープがつけられた公民館

山の駅は次年度に

【近藤議員】

この予算は、大山寺参道に建設する山の駅(仮称)の予算だと思っている。

今年度中の設計完了が難しいという話があったが、どこまで遅れる見通しか。

【観光商工課長】

当初は年度内をめざしていたが、環境省との協議が遅れている。しかし、遅れても1カ月程度で、本体工事は計画どおり平成29年度中には完了する。

討論

【反対：近藤議員】

一般会計は4億3200万円の増額補正で120億円を超える。

予算が増えることに反対ではないが、必要な予算は行財政改革によって生み出し、手当していくべきだと思う。

だからだと増え続ける補正予算には賛成しかねる。

【賛成：西山議員】

予算は住民福祉の増進のために出ている実施計画である。本町が一步一步進む予算ということを確認して賛成討論とする。

一目でわかる 審議結果

11月臨時会・12月定例会・1月臨時会

○賛否の分かれた議案

○は賛成、×は反対あるいは保留

議案	氏名	加藤紀之	大原広巳	大杖正彦	岡田伸夫	遠藤幸子	米本隆記	大森正治	杉谷洋一	野口昌作	近藤大介	西尾寿博	吉原美智恵	岩井美保子	岡田聡	西山富三郎	結果
12月定例会																	
物品購入契約の締結(大山口診療所 電子内視鏡ビデオシステム)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	賛成13人可決
一般会計補正予算(第8号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	賛成14人可決
問題行動等に総合的・長期的に対応する仕組みの実現を求める意見書		×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成13人可決
議会議員政治倫理条例の一部改正		×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	賛成13人可決
1月臨時会																	
一般会計補正予算(第10号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	賛成14人可決
町長及び副町長の給料減額条例		○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	賛成9人可決

○全会一致の議案

11月臨時会……条例(3件)、工事契約変更(1件)、補正予算(1件)
12月定例会……条例(8件)、規約変更等(4件)、辺地計画変更(3件)、補正予算(7件)、工事変更契約(1件)
1月臨時会……物品購入契約(1件)、特別委員会の設置(1件)
議案の採決は、野口俊明議長を除く15人で行います。

みなさんからの 陳情

題名	提出者	要旨	委員会の意見・結果	付託委員会	本会議採決結果
鳥取県西部地区に問題行動等に総合的・長期的に対応する仕組みの実現を求める陳情書	米子市西倉吉町 発達障害家族ネット 代表 矢田貝 正夫 高次脳機能障害者家族会 会長 森田多賀枝 社会福祉法人地域てくらす会 理事長 井上徹	困難な精神症状・2次障害など対応は家族全体に支援が必要であるが、現行の縦割り支援では対処しきれない。鳥取県西部地区に総合的・長期的に対応する仕組みの実現を求める。	支援が必要な者に対し支援が混在している。複数の問題を抱える家族に対し、分野別の支援をまとめる仕組みが必要だ。支援センターの開設には、検討会が優先されるべきとの意見もあった。採択4、継続審査1で採択。	教育民生	採択 (不採択: 米本・加藤)

問題行動等に総合的・長期的に対応する仕組みの実現を求める意見書

1. 当事者と家族全体の支援が可能な相談支援機関「(仮称)西部総合支援センター」を開設すること。
 2. 新たな専門職「(仮称)在宅ケースワーカー」の育成をすること。
 3. 全市町村に「(仮称)在宅ケースワーカー」を派遣すること。
 4. 福祉支援人材全般の育成にも取り組むこと。
 5. 「(仮称)西部総合支援センター」は県立県営が望ましいが、困難な場合は県、西部地区の市町村、関係者、要望書提出者で、センター設立開設・運営に関する検討会を持つこと。
- 提出先 鳥取県知事 平井 伸治 様